

お店屋さんロールプレイ
(オリジナルメニューで注文しよう)

() 組 なまえ _____

領域・形態・時間	話すこと [やり取り] 4人グループ (店2人・客2人で交代) メニューづくり15分 + 本番20分×2時間
ねらい	自分たちのお店のメニューをつくり、店員とお客になって What would you like? — I'd like ..., please. / How much is it? — It's ... yen. のやり取りをする (単元ゴールの本番)。

やり方 この流れでやってみよう

- 1 Make your menu. Four foods and prices!
グループで4品と値段をきめる (値段は100~900円の100円たんい)
- 2 Practice: "Welcome. What would you like?"
店員のことばを練習。カードを見ながらでOK
- 3 Order: "I'd like ..., please. How much is it?"
お客になってほかのお店へ。注文して、ねだんもきく
- 4 "Here you are." — "Thank you!"
わたし・お礼を言うところまでやり切って交代する

わたしたちのお店のメニュー 4品と、ねだんをきめよう (100~900円)

絵	English (絵カードを見て書こう)	ねだん
		_____ yen
		_____ yen
		_____ yen
		_____ yen

おきゃくさんメモ 2つのお店で注文してみよう

お店の名前	注文したもの (I'd like)	ねだん

会話の型： (店) Hello. Welcome. What would you like? → (客) I'd like ..., please. → (客) How much is it? → (店) It's ... yen. Here you are. → (客) Thank you. See you!

ルール

①注文は1品からでOK（2品言えたらすごい） ②ねだんは100円たんい（100～900）にする ③店員は Here you are.、お客は Thank you. まで言い切ってから交代する

☆レベルアップ！ 「おすすめ」を言えたらレベルアップ。（店） This is nice! / Ice cream is 200 yen. のように、きかれる前に伝えてみよう。

先生へ（運用のコツ・中間指導）

- ・第5時にメニューをつくり、第6・7時で本番。つくる日と使う日を分けるのが時数リアリズム（1時間に詰めると必ず崩壊する）
- ・◎第5時の見取り（知技）はメニュー表の英語と値段で。絵カードを見て書き写していればよい（つづりの正確さは問わない）
- ・中間指導では「Here you are. まで言い切った組」と「One more time, please. で聞き返した子」の2つを取り上げる——やり取りは終わり方と立て直し方で決まる

中間指導の進行台本（第6時）

この紙は先生用（1部だけ）：主活動の20分を「1回目 → ことばの補給 → 2回目」のサンドイッチにする先生用の台本。1回目で言えなかったことを、同じ20分のうちに「言えた」に変える——時間は1分も足さない。

20分のサンドイッチ 第6時の主活動20分＝ロールプレイ①を「サンドイッチ」にする

分	やること	先生のうごき
0-7	ロールプレイ1回目（店2人・客2人）	客は2つの店を回る（1組1分厳守）。先生は「言えなくてつまった顔」を見つけておく
7-9	あつめる：言いたかったのに言えなかったこと	「日本語でOK」と先に宣言する。班で1つ選んで記録役が発表（全体で3～4個あれば十分）
9-12	英語にする：下の補給表から黒板へ	近いものを書き写し、全員で2回ずつ声に出す（先生がその場で英語を作らなくてよい）
12-13	自分の台詞にもどす	さっき言えなかった子が、となりに向かって1回言えたら準備完了
13-20	ロールプレイ2回目（店と客を交代）	「補給したことばを1つ使えたら店長級」。相手は同じでもよい——2回目は必ず長くなる

ことばの補給表 「言いたかった」を、ここから黒板に書き写すだけ

言いたかったこと	こう言える	ひとこと
ほかにもありますか？（店）	Anything else?	2品目への誘い。テストでも先生が使う言葉
デザートもありますよ（店）	We have cake!	町の単位（U5）で使った We have ～. との再会
これ、おすすめです（店）	This is nice!	メニューを指しながら。レベルアップの言葉と同じ
ピザはありますか？（客）	Do you have pizza?	お店で使う決まり文句として、音のかたまりで
お水をください（客）	Water, please.	「～, please.」は何にでも使える
もう1つください（客）	One more, please.	One more time, please. の仲間
ちょっと待ってください	One moment, please.	まよったとき、だまらなための道具
おいしそう！（客）	Yummy! / Looks good!	Small Talkで先生が言っていた言葉

表にないことばが出たら
「おつりです」「少々お待ちください」のようなことばは、無理に英語にしない。「それは中学校で出会うことば。今日は日本語＋ジェスチャーでOK」と返す——まちがった英語をその場で作らないことがいちばん大事。次の時間に正しい形で持ってくればよい。

先生へ（この20分の勘どころ）

- ・この20分は主活動そのもの——新しい時間は1分も足さない。第7時のロールプレイ②も、この台本と同じ進行で回せる
- ・はやく言えた子には記録役（班の「言えなかった」を1つ選んで発表）や、2回目に往復の数をかぞえる係を。先生役は頼まない——本人の練習の機会を奪う
- ・補給のことばが入るのは「言えなかった」の直後だから——先に教えるより、この順番が効く
- ・2回目のあと「1回目より往復が増えた人？」と挙手で確認して終える。増えた実感が、この単元の学びの証拠